



CORPORATE REPORT 2023

2023年12月期
第3四半期決算報告

2023年1月1日



2023年9月30日

GMO INTERNET GROUP

証券コード：9449

岩盤収益基盤×
新規セキュリティ領域の
強化で新たな成長段階へ

代表取締役グループ代表
会長 兼 社長執行役員・CEO

熊谷 正寿



インフラ・金融のコア事業が成長を牽引

当第3四半期の連結業績は、インターネットインフラ事業とインターネット金融事業が業績を牽引し増収増益となりました。最終利益については、関連会社株式に対する特別損失を計上した前年同期比で大幅に増加しました。

インターネットインフラ事業は、「圧倒的No.1」サービスの集合体の強みを活かし決済事業やセキュリティ事業が好調に推移し増益のドライバーとなりました。インターネット広告・メディア事業では、自社メディアは引き続き好調を維持している一方、広告代理において一部業種で広告費削減の動きが見られたことにより全体では減収減益となりました。来期以降の再成長に向け、施策を進めていきます。インターネット金融事業では、店頭FXの収益性は改善しており、CFDも引き続き収益を支える商材として堅調に推移しました。また、タイの証券事業においては、約5億円の貸倒引当金戻入益を計上しました。暗号資産事業は、市場の低迷が続く中で売買代金が低水準で推移していますが、前年同期比では赤字幅が縮小しました。

当社グループでは岩盤ストック収益と自社開発・自社運用の強みを活かし、さらにAI活用No.1企業へと成長を続けてまいります。今後も当社グループ事業のさらなる発展にご期待ください。

連結業績ダイジェスト (2023年7月1日▶2023年9月30日)

▼第3四半期決算のポイント

当第3四半期	
売上高	営業利益
 62,051 百万円	 9,466 百万円
(前年同期比 8.5%増)	(前年同期比 33.9%増)

▼セグメント別の概況 (単位百万円、カッコ内は前年同四半期比増減率)

インターネットインフラ事業	
売上高 42,478 (11.6%増)	営業利益 6,129 (29.0%増)

当四半期のポイント

- 主要サービスがいずれも伸長し、前年同期比11.6%の増収
- 決済とセキュリティの牽引で前年同期比29.0%の大幅増益

インターネット広告・メディア事業	
売上高 8,587 (3.4%減)	営業利益 485 (34.2%減)

当四半期のポイント

- 広告代理における一部業種の広告費削減を受け、売上が減少
- 粗利の減少をコスト抑制で補い切れず、通期も減益の見通し

インターネット金融事業	
売上高 10,539 (5.4%増)	営業利益 3,605 (34.3%増)

当四半期のポイント

- 店頭FXの収益性改善とCFDの好調で売上高・利益とも増加
- タイの証券事業において約5億円の貸倒引当金戻入益を計上

暗号資産事業	
売上高 958 (23.6%増)	営業利益 △532 (-)

当四半期のポイント

- 前年同期比で増収、利益改善を遂げたものの損失計上を継続
- 取引口座数は拡大、市場の活況に備えて利益を出せる体制へ

クローズアップサマリー

「GMOイズム」に根差したマテリアリティを特定

このたび当社グループは、ESG/サステナビリティ経営における重要課題を抽出すべく、ステークホルダーと自社の双方の視点による検討を行い、サステナビリティ推進委員会および取締役会の審議・承認を経て、下記の通り「事業を通じた社会課題解決」と「経営基盤の強化」を軸とする6項目のマテリアリティを特定しました。「挑戦・安全・環境」への意思と、それを支える「人財・信頼・ガバナンス」への想いを込めた各マテリアリティは、借り物の言葉ではなく、私たちが流儀として大切にしている「GMOイズム」に根差したものです。私たちは、このマテリアリティをグループ全体に共有・浸透させ、パートナー全員による取り組みとして推進することで、持続可能な社会の実現に貢献し、自らの企業価値拡大を果たしてまいります。

GMOインターネットグループのマテリアリティ

🔍 事業を通じた社会課題解決

挑戦

No.1サービスへのこだわり

インターネット産業で圧倒的No.1のサービスを、自社開発・自社運用で提供する



安全

お客様の笑顔を守る責任

安心・安全なインターネットインフラの提供で、お客様の笑顔を守る



環境

事業活動による社会課題の解決

地球環境・社会・人々の幸福に貢献する



🔍 経営基盤の強化

人財

チャレンジを続け、共に成長できる集団

パートナーひとりひとりが活躍できる環境が、No.1サービスを生み出す



信頼

ステークホルダーの笑顔を最大化

かかわるすべての方との対話を通じて、ファンを増やす



ガバナンス

100年単位で継続する企業グループ

持続的成長を実現するための強固な体制を作る



当社のサステナビリティに関する詳細は
以下よりご確認ください。

<https://www.gmo.jp/csr/>



ニューイヤー駅伝優勝を目指し、チーム激走!

GMOインターネットグループ陸上部は、2024年1月1日に開催予定の「第68回全日本実業団対抗駅伝競走大会(ニューイヤー駅伝)」への出場権を獲得しました。その予選会である2023年11月3日に埼玉県で開催された「第64回東日本実業団対抗駅伝競走大会」では、新加入選手を積極的に起用し、悲願のニューイヤー駅伝初優勝へ向けて戦略的にレースを進め3時間50分36秒で完走致しました。

また、パリ五輪マラソン日本代表選考会のマラソングランドチャンピオンシップ(MGC)が2023年10月15日に東京都で開催され、当社陸上部から下田裕太選手と吉田祐也選手が出場しました。

チームは競技を通じて日本中に笑顔と感動を創造するため、最初の目標であるニューイヤー駅伝の初優勝を達成するべく一丸となり取り組んで参ります。引き続き株主の皆様のご声援を宜しくお願い申し上げます。

大会概要

第68回全日本実業団対抗駅伝競走大会(ニューイヤー駅伝)



開催日 2024年1月1日(月)

会場 群馬・前橋

住所 群馬県庁(スタート・フィニッシュ)
〒371-8570 群馬県前橋市大手町1丁目1-1

ハッシュタグ #ニューイヤー駅伝

GMOインターネットグループ陸上部の活動については、こちらからご確認ください。

<https://athletes.gmo.jp>



株主様向けインフォメーション

1 四半期配当

四半期配当: 期初方針に基づき10.2円の配当

当社では、配当性向33%を目途に四半期配当を実施しております。業績予想を非開示とする金融事業を含むため、本年度も連結業績予想は開示しておらず、同様に配当予想額も開示しておりません。配当額については四半期決算ごとに開示を行う予定です。

(単位: 円)	1Q	2Q	3Q	4Q	配当総額
2023年	12.2	7.5	10.2	-	29.9
2022年	19.6	28.0	00.0	00.0	47.6

2 株主優待

6、12月末日において1単元以上所有の株主様に対し、株主優待関連書類を郵送にて送付しています(郵送の目安:6月末→9月下旬/12月末→3月中旬)。

※株主優待の申請手続きや、より詳しい情報につきましては株主優待申請サイトをご確認ください。

▶ <https://yutai.gmo.jp/>

3 お問い合わせ先

- 株主優待はこちら
(GMOインターネットグループ株式会社 株主優待事務局)

専用ホームページ <https://yutai.gmo.jp/>

お問い合わせ先 03-6633-4355

(受付時間: 土日祝祭日及び会社休業日を除く平日10:00~18:00)

- 株式事務手続きはこちら
(三井住友信託銀行株式会社 証券代行部)

0120-782-031 (フリーダイヤル)

(受付時間: 土日祝祭日等を除く平日9:00~17:00)